



フォーサイド グループ 2021年12月期第3四半期 決算説明資料

補足説明資料



2021年12月期第3四半期 連結業績ハイライト

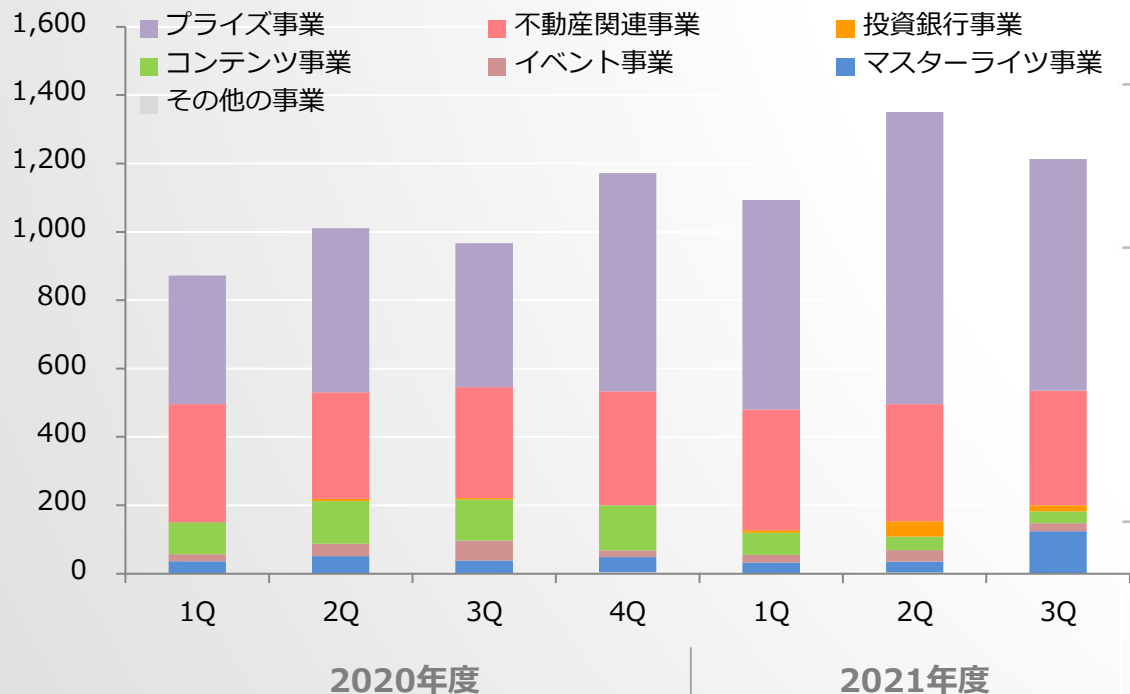
(単位：百万円)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	2,859	3,669	128.4%	2021年12月期第3四半期の営業収益は、プライズ事業が好調に推移したこと、及び2021年8月1日付けで株式会社角川春樹事務所よりPopteen事業を譲り受けたこと等により、営業収益は前年比128.4%と大幅な増収となった。 利益においては、営業収益の大幅な増加に比べ、不動産関連事業での与信審査及び債権管理業務の強化に取り組み、延滞債権の減少、及び債権回収率が大きく向上したことで、貸倒引当金繰入額が大幅に減少した結果、営業利益は200百万円となった。 また、新株予約権戻入益、事業譲渡益を特別利益に計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、217百万円と大幅な増益となり、3四半期続けての黒字を達成。
売上総利益	1,239	1,465	118.1%	
販売管理費	1,359	1,265	93.0%	
営業利益	△119	200	—	
経常利益	△68	200	—	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△367	217	—	

3四半期連続での営業黒字を達成
第3四半期までの累計純利益も2億円を超える黒字を達成

営業収益の成長推移

(単位：百万円)



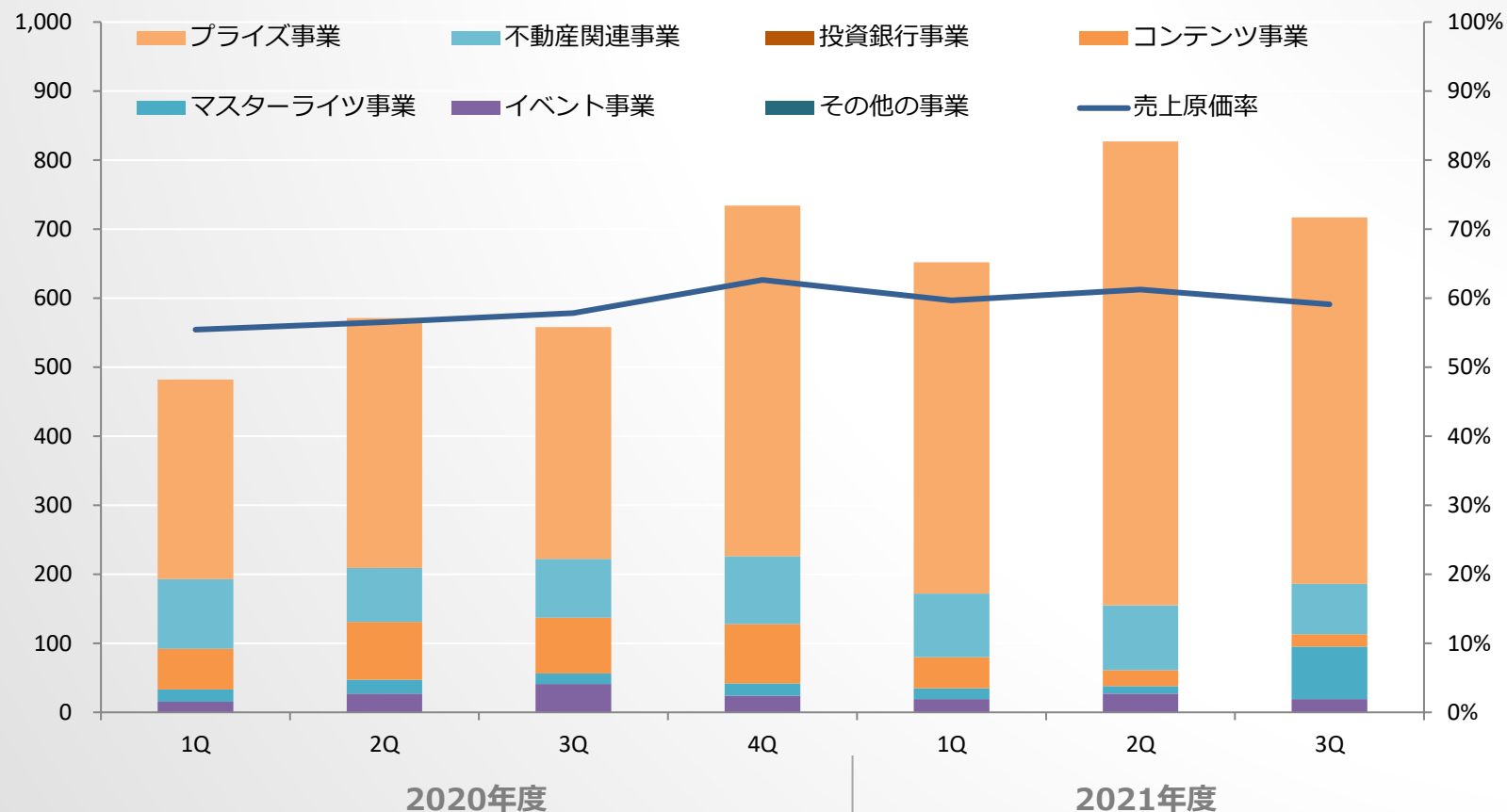
営業収益は、第3四半期累計で36億円を突破！
前年比28.4 %の増収を達成

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	プライズ事業では、ゴールデンウィーク向けの販売が好調に推移したことにくわえ、人気キャラクター商品を継続して取り扱ったことにより、売上高、セグメント利益ともに、大幅な増収増益を達成。
不動産関連事業	不動産関連事業では、民法改正による家賃保証の需要増加が継続し、新規契約者数は堅調に推移。また、与信審査及び債権管理業務の強化と業務の効率化を推し進めたことが奏功し、貸倒引当金繰入額が大幅に減少したことにより、セグメント利益を確保。
投資銀行事業	投資銀行事業では、WEB会議の活用等、コロナ禍での新たな営業活動を推進しながら案件を進捗させてきたが、成約件数は低調に推移した結果、セグメント利益の確保に至らず。
コンテンツ事業	コンテンツ事業では、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、ユーザーのニーズを把握し、人気の高い作品を集約する等のサイト運営を行う等、ユーザビリティの向上施策を実施。映像制作事業は、2021年1月31日付けで事業譲渡が完了し、本事業から撤退。電子書籍事業単体では、前年に比べ減益も、セグメント利益は確保。
マスターライセンス事業	マスターライセンス事業では、ライブハウス等での活動を再開できたが、収容人数は引き続き制限中。 出版事業においては、Cuugalにくわえ、ティーン向けファッション誌「Popteen」を譲り受け、既存出版事業の業容拡大に取り組むも、セグメント利益の確保には至らず。
イベント事業	イベント事業では、引き続き収容人数を制限した状態でのイベント運営が続いており、想定した収益を得られず、セグメント利益の確保に至らず。
その他の事業	金融事業での貸付金の回収にくわえ、(株)フォーサイドでのコンサルティング案件の成約により、セグメント利益を確保。

原価の推移

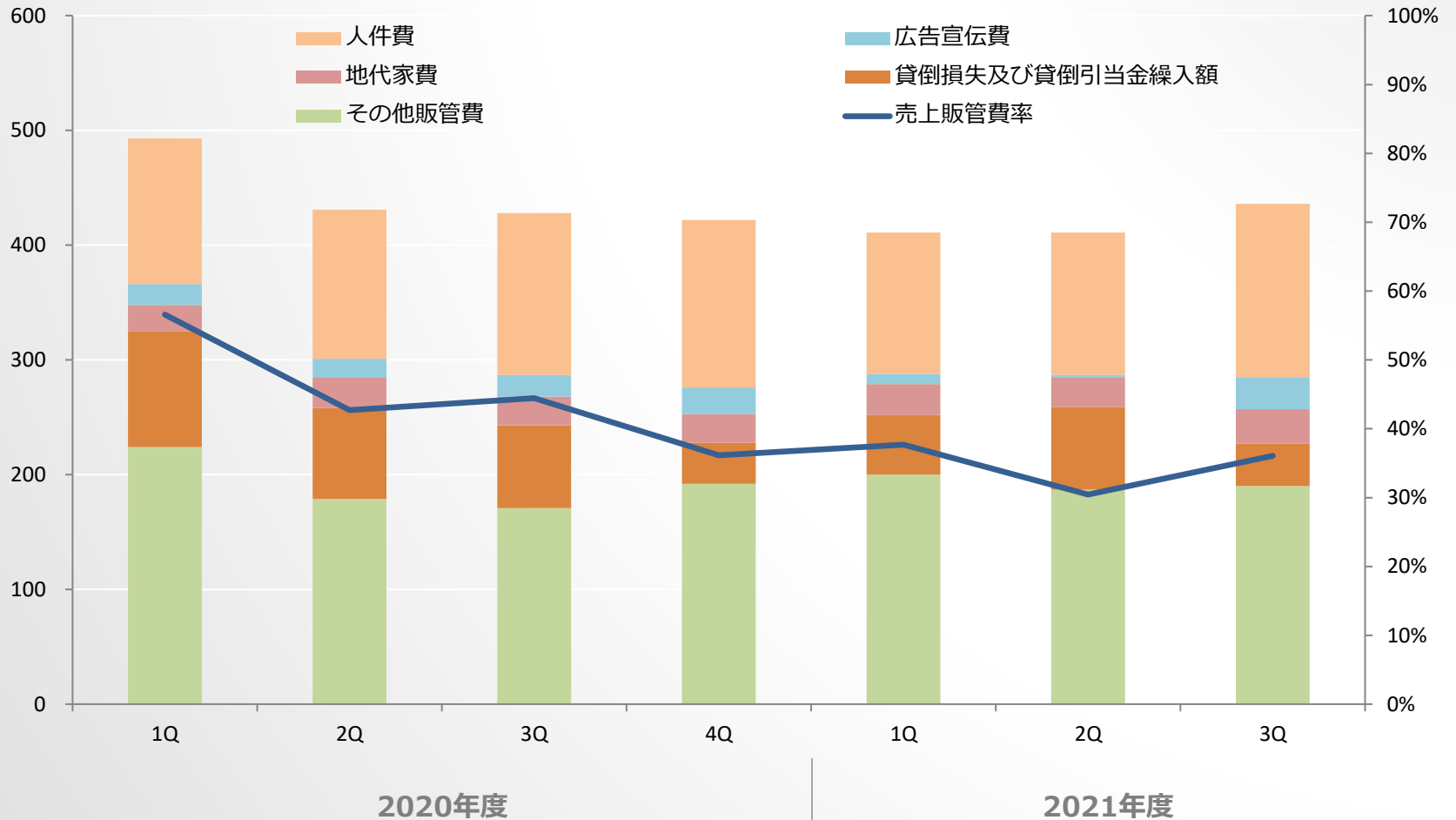
(単位：百万円)



主な増加要因は、営業収益の増加に伴う連動原価の増加
コストコントロールを徹底することで、売上原価率は現状を維持

販売管理費の推移

(単位：百万円)



不動産関連事業における貸倒引当金繰入額が大幅に減少
グループ全体でも、前年比7.0 %の減少を達成

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年度 12月期	2021年度 第3四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	3,841	4,290	449	資産については、現金及び預金の増加117百万円、商品の増加91百万円及び投資有価証券の増加168百万円等により、前連結会計年度末に比べ449百万円の増加となった。
負 債	2,746	2,993	246	負債については、短期借入金の増加185百万円及び未払金の増加87百万円等により、前連結会計年度末に比べ246百万円の増加となった。
純資産	1,095	1,297	202	純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益217百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ202百万円の増加となった。

(注) 2021年11月12日現在、発行済株式総数は32,557,704株、資本金は100百万円です。

第1四半期、第2四半期に続き、四半期純利益を計上。
期初に比べ純資産が大幅に増加



2021年12月期の業績見通し

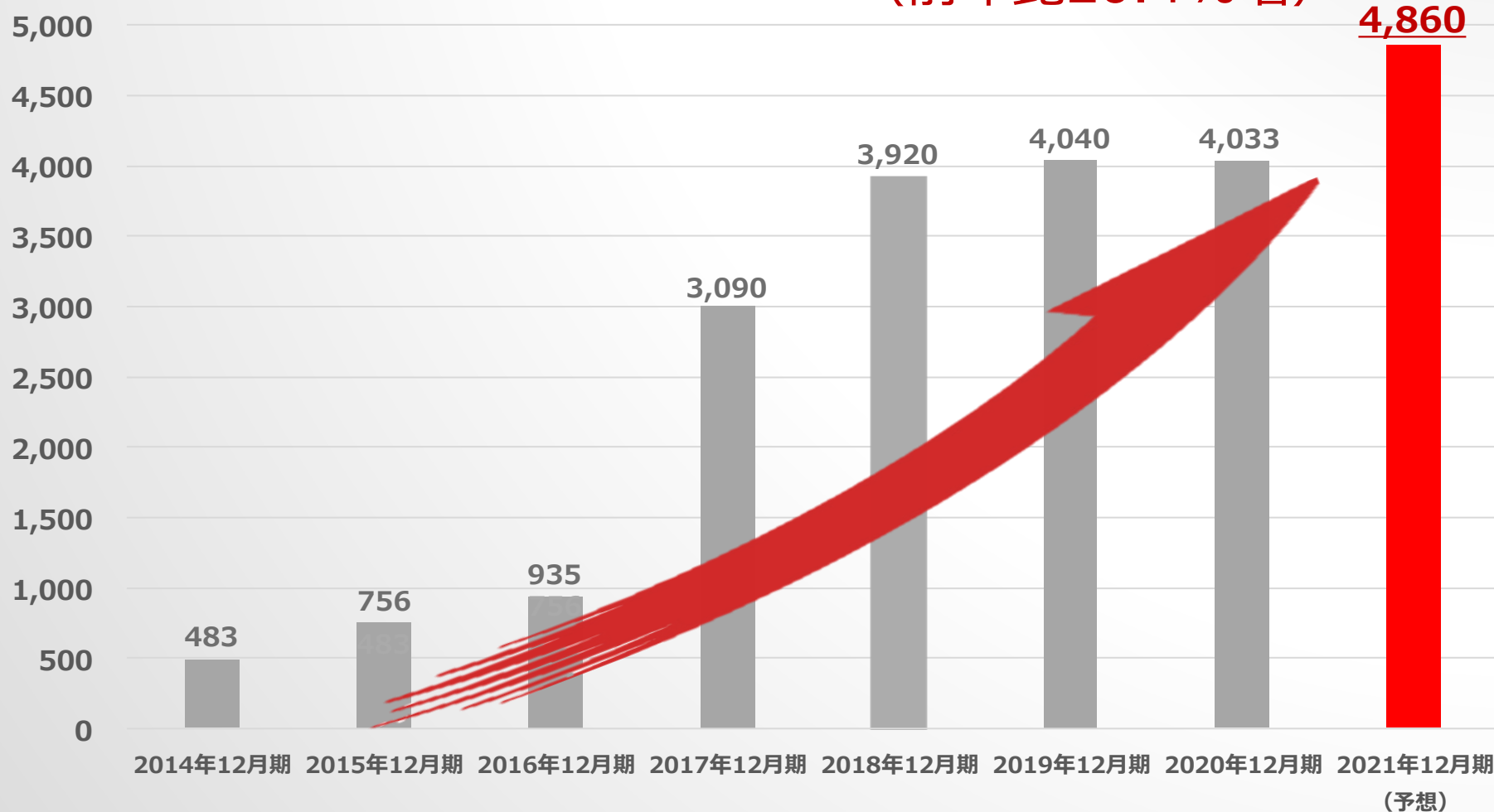
2021年12月期の業績見通し

2021年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年2月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。以下の資料の他、本日公表しました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

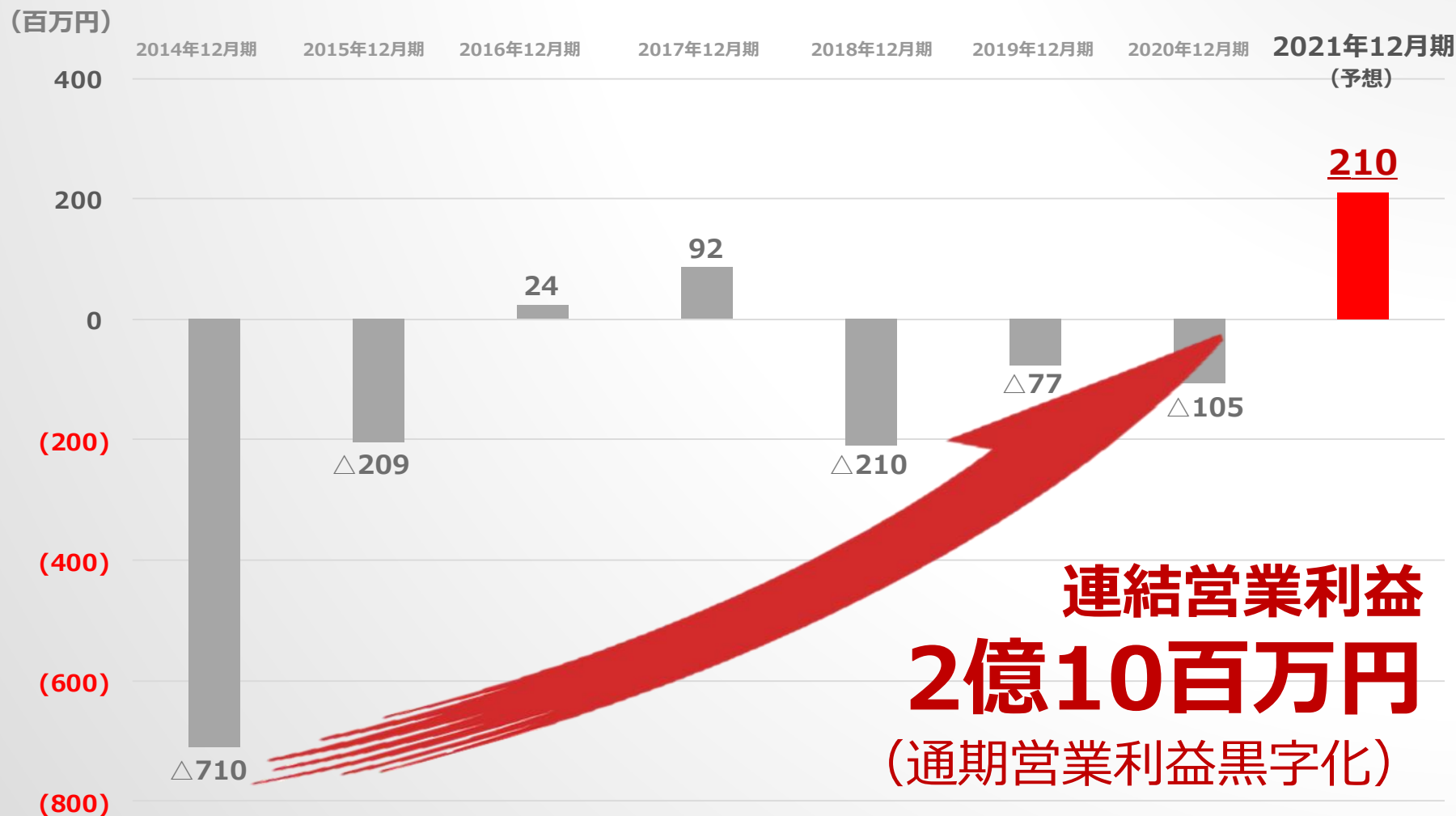
連結営業収益（通期予想）

連結営業収益 4 8億60百万円
(前年比20.4%増)

(単位：百万円)



連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会 社 名	株式会社フォーサイド（持株会社） 
所 在 地	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階
設 立 日	2000年3月31日（2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330）
資 本 金	100,000,000円（2021年11月12日現在）
経 営 陣	代表取締役 根津 孝規 取締役会長 泉 信彦 常務取締役 飯田 潔 常務取締役 吉田 生喜 取 締 役 濱田卓二郎 監査等委員 法木 右近 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛
顧 問	法律顧問 TMI総合法律事務所
事 業	・株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
主な子会社	・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営 ・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業 ・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/スマートフォンアプリ配信事業、出版事業 ※旧(株)モビぶっく（2021年7月21日付けで商号変更） ・フォーサイドフィナンシャルサービス(株)：M&Aのアドバイザー業務 ・(株)マーベラスアーク：音楽関連事業 ・フォーサイドメディア(株)：出版事業



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。